|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 年度 | レポート番号 | クラス | 学籍番号 | 名前 |
| API実習 | 2021 | 5 | B | 20120013 | 小崎翼 |

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうかが、点数アップの分かれ目です。

# 設問(1)

この科目で学んだ内容を第3者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

今回受講したAPI実習では、主にAPIの開発と連携について学びました。

「API」とは、「Application Programming Interface（アプリケーション　プログラミング　インターフェイス）」のことでそれぞれ英単語の頭文字からとったものの名称になります。

インターフェイスの意味は、その「もの」と「もの」をつなぐものです。講義の中で説明があった例をあげるとUSB等の周辺機器がインターフェイスにあたります。パソコン・スマートフォンをつなぐものですので該当します。

つまり、アプリケーションとインターフェイスをつなぐものそれがAPIと言うことになります。

APIは、外部に公開することで、利用者である第三者の開発したアプリ・ソフトウェアと機能を共有することが可能になります。

どのような機能を共有できるのかというと認証機能やデータを取得し、別なソフトでデータの解析・公開ができるようになり、機能の拡張を図ることが実現可能になります。

　これによりメリットがあります。開発の作業効率が上げることが出来ます。公開されたAPIを利用すれば、一から構築しなくともAPIソースのおかげで効率化が図れます。それに伴いコスト削減も見込めます。開発にかかる時間を短縮化できます。

# 設問(2)

レポート(4)をもとに、API連携作成またはAPIを用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

## 名称

カレンダー通知API

## 概要(作ったものの説明)

社用にGoogleカレンダーを使用しているが社員全員が同一のアカウントで運用しているため、予定が追加された際に確認が取りにくいため、予定が追加された時に通知を促すAPIを作成しました。

## 画面ショット(動作がわかるように画面を交えて説明)

白黒の写真にテキストが書いてあるスマートフォン

低い精度で自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, Teams

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明